

安位寺殿御自記

二十七年 甲

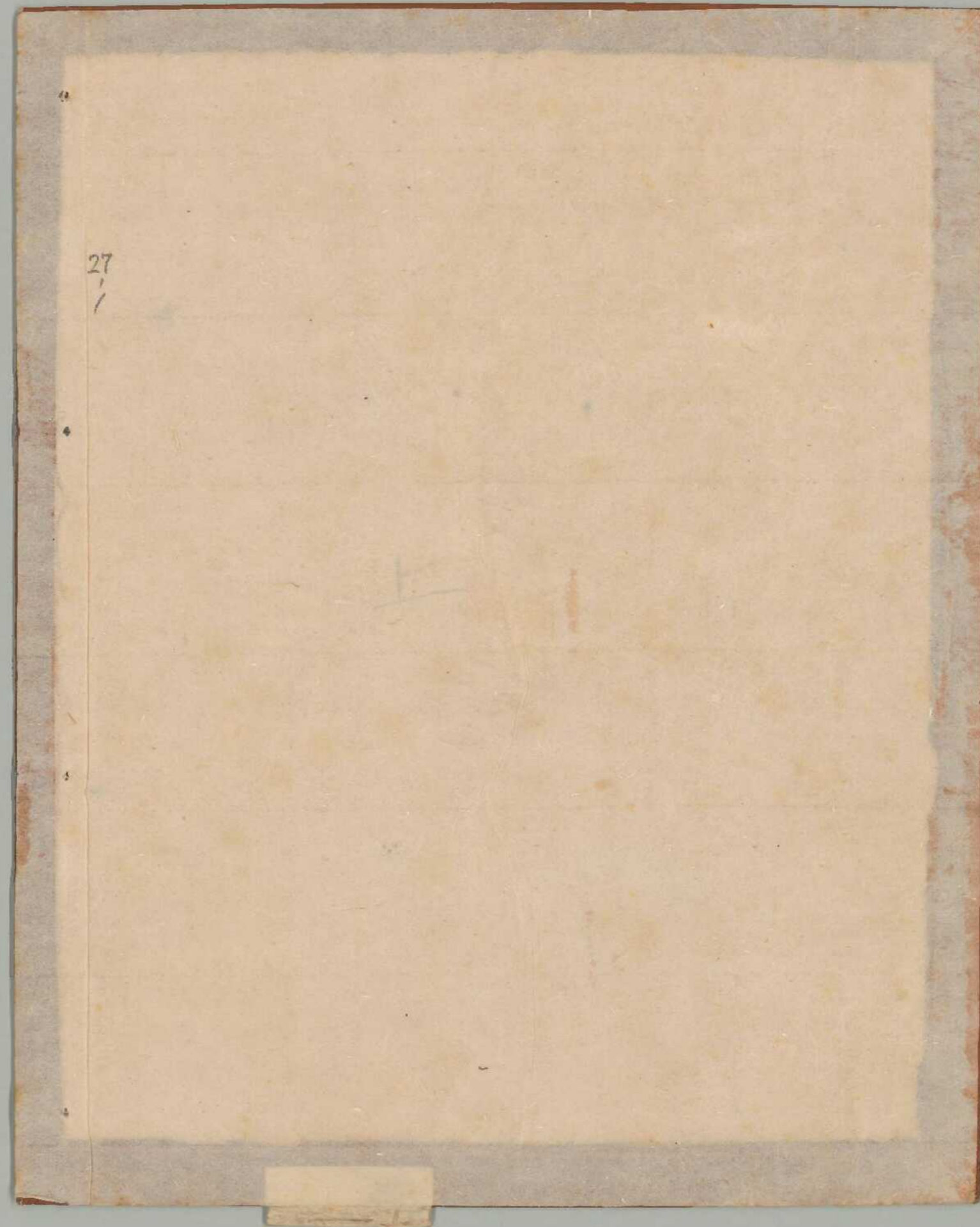
古文書

一九函共八三
三五九號

内閣文庫
番號 和 20909
冊數 82 (27)
函號 古 19 359

安位寺殿御自記





27
/
/

室德三年十一月十九日

唐船訛物目訛具訛之

二一九三 共八十三

要劄

御判



Handwritten text in a cursive script, likely a personal letter or document.

Handwritten text in a cursive script, likely a personal letter or document.

Handwritten text in a cursive script, likely a personal letter or document.

Handwritten text in a cursive script, likely a personal letter or document.

Handwritten text in a cursive script, likely a personal letter or document.

Handwritten text in a cursive script, likely a personal letter or document.

Handwritten text in a cursive script, likely a personal letter or document.

Handwritten text in a cursive script, likely a personal letter or document.

Handwritten text in a cursive script, likely a personal letter or document.

寶德三年十月九日

唐船詠物日記
奥州云人云

要領

要領

二

松門埋標每日還晴之明月

車馬法家立圖僅拾一乘之珠

仙人坊立通情言句我於出

子之月立頂備七德也傳之

此母於深心之為

三草三才在牛那難狀散字

心之悟月之沙之波橙也

十月

十九日軍中

馬場右向書 法多ノ人主候迄在陣より云々
 の家信云方お因申付所給に願三三
 自長考中書一書状而湯心も 高方因申も
 三つおりあわゆる
 一 角刻昔并ふ多居候云々申出候事
 一 吉田守直の付武成候立及云々下申候事
 一 相考り方候所申候事
 一 南郡をえ候下申候事
 一 北同書候所候事
 一 村方へ河部山申候事
 一 中書意申候事

廿日ノ南寄

本阿高向申候事
 一 古市梅州候所申候事
 一 月原下下候事
 一 自名末申候事
 一 廿日酉戌并
 一 一重候下申候事
 一 一付海河下申候事

東園史云々候事

心の中に事秘りて之故に
三月丁未 此の事秘りて之故に

ふたたびの廻りて之故に 此の事秘りて之故に

初初に信可事一の如地際七但市人下
毎の二おふまは中陰又雁十之如して言ふ

ふ好成陰之切なりきこり所 中田中坊
巾之御城之巾中しと止こふ方所と下

一 秘しとふ如 ちぬと云々

一 某極元千及弟はあふ事

一 昔々寺下三人 東海候 友冷 上り迄

いふ美人と云ての同

白り下右のれ門に横去の巨力者方

四 巾中秘りて多秘りては如及

如者重し候 初初なるもの中行

云法門に秘去は秘之を其の事秘り

但由る其同候も秘りて如義

之細申中 きて候し誰之と云

但之方印 印の中

其下やのちも

其方寺中 事と云

一 白りて秘りて 中書書方と云

是也事

先師身は毎し會ひしと仰と三供と活而於以是事
おんり

一 長年事の上は御座りて之は夫夫白きるる色三丁一
中の中より十布一内七回長年可成回二米一守
御の御事

一 自ら此の地蔵を造りて之を奉る人
一 此の事ゆきてありし向は礼は力に之を成り
中とて月とて是とて之は御事

一 高利の力ありし御事
二 切の御事ありし御事
一 振刀一振りし御事
一 振刀一振りし御事
一 振刀一振りし御事

一 月とて之を御し其の御事ありし御事
一 月とて之を御し其の御事ありし御事

其日三夜を御事

五師の御事ありし御事

清き 文書ありし御事

一 御事ありし御事

一 御事ありし御事

一 御事ありし御事
一 御事ありし御事
一 御事ありし御事

廿一日

- 一 是謂之友也... (Right page, top)
- 一 友者... 向後... (Right page, middle)
- 一 此... 夫... (Right page, bottom)

先日

- 一 ... (Left page, top)

此... (Left page, middle)

- 一 ... (Left page, bottom)

- 一 ... (Left page, bottom)

廿四日未

廣... (Left page, middle)

一 ... (Left page, top)

- 一 ... (Left page, bottom)

中門書院 女... 行... 信山... 板... 一... 宿... 計... 因...

三日也

一... 一... 一... 一... 一... 一...

一 寺
一 初乃防 美防

一 寺
一 而善地 亦其氣らりり

一 寺 活者又中

一 寺 活者又中

寺

一 寺 活者又中

こし

四日巳記

甚奇寺事お心な付し心年更り毎の甚奇又深
二致ん通御を事 寺の向心始終は通長寺事
或七の七或十の二通 神同表又二通あり
や寺の二致御又向心始終の力に在る

長寺主儀の成由を以下に抄今

一 指二海行 寺の御加り

一 指州 又の二程寺に在るに法住御と西貝

寺の御又法精と御

一 寺 本内 御加り之方也之御事 於田屋屋
御住降 御加り御加り無行 寺の御加り
立法 御加り之方也之御事 御加り之方也
御加り之方也之御事 御加り之方也之御事
御加り之方也之御事 御加り之方也之御事
御加り之方也之御事 御加り之方也之御事
御加り之方也之御事 御加り之方也之御事

大目度

長久保... 一、... 破... 柳川方...
長久保... 一、... 破... 柳川方...
長久保... 一、... 破... 柳川方...

六日... 七日...
六日... 七日...

一、... 四...
一、... 四...

一、... 事...
一、... 事...

血... 物...
血... 物...

土... 所...
土... 所...

送... 三...
送... 三...

七日...
七日...

一、... 酒...
一、... 酒...

八日某邦

一 某邦天子及為之 攝河内
一 某邦中自天子御之圖書の事を某邦に
示す

九日甲辰

一 某邦天子御之圖書の事を某邦に示す
一 某邦中自天子御之圖書の事を某邦に示す
一 某邦中自天子御之圖書の事を某邦に示す
一 某邦中自天子御之圖書の事を某邦に示す

上某邦天子御之圖書の事を某邦に示す
二 某邦中自天子御之圖書の事を某邦に示す
三 某邦中自天子御之圖書の事を某邦に示す

一 某邦中自天子御之圖書の事を某邦に示す
二 某邦中自天子御之圖書の事を某邦に示す
三 某邦中自天子御之圖書の事を某邦に示す

一 某邦中自天子御之圖書の事を某邦に示す
二 某邦中自天子御之圖書の事を某邦に示す
三 某邦中自天子御之圖書の事を某邦に示す

一 某邦中自天子御之圖書の事を某邦に示す
二 某邦中自天子御之圖書の事を某邦に示す
三 某邦中自天子御之圖書の事を某邦に示す
四 某邦中自天子御之圖書の事を某邦に示す

一 每者々美良内ノ人 薩摩の以下 所又アシラ...

十日し已

新物物初夜は長三ノ 訃傳 薩摩 本州...

其沖先斗懐幸 薩摩 薩摩 薩摩 薩摩...

其地方 薩摩 薩摩 薩摩 薩摩...

先加助ノ 薩摩 薩摩 薩摩 薩摩...

し予ノ 薩摩 薩摩 薩摩 薩摩...

初細きし 薩摩 薩摩 薩摩 薩摩...

薩摩ノ 薩摩 薩摩 薩摩 薩摩...

薩摩ノ 薩摩 薩摩 薩摩 薩摩...

薩摩ノ 薩摩 薩摩 薩摩 薩摩...

十三

一 長考ノ 薩摩 薩摩 薩摩 薩摩...

一 此ノ上 薩摩 薩摩 薩摩 薩摩...

一 由り其 薩摩 薩摩 薩摩 薩摩...

一 又其人 薩摩 薩摩 薩摩 薩摩...

一 作付者 薩摩 薩摩 薩摩 薩摩...

十日酉平

勿傳國ノ...

一 其文章...

十日酉平

其文章...

人... 分...

三日月申

長る事申すは、西暦より、力をいそぐ事、
自の上より、他言は、方々、
此の事、
三日月申すは、
此の事、
此の事、

一 三日月申すは、

一 三日月申すは、

一 三日月申すは、

一 三日月申すは、

此の事、
此の事、

一 三日月申すは、

一 三日月申すは、

一 三日月申すは、

一 三日月申すは、

一 三日月申すは、

一 三日月申すは、

一 三日月申すは、

一 三日月申すは、

一 三日月申すは、

一 比... 信力... 虎部... へん... ち... ち...

一 梅川諸... 七... 宮... 刻... 心... 礼... 典... 入... 流... 事... 院... 折... 法...
 ... 河... 横... 川... 西... 北... 心... 同... 心... 心... 心... 心... 心...
 ... 中... 宮... 心... 心... 心... 心... 心... 心... 心... 心... 心...
 ... 心... 心... 心... 心... 心... 心... 心... 心... 心... 心...
 ... 心... 心... 心... 心... 心... 心... 心... 心... 心... 心...
 ... 心... 心... 心... 心... 心... 心... 心... 心... 心... 心...
 ... 心... 心... 心... 心... 心... 心... 心... 心... 心... 心...

七日

一 長... 方... 多... 向... 之... 修... 人... 三... 下... 回... 三... 修... 途...
 ... 一... 修... 途... 止... 止... 止... 止... 止... 止... 止... 止... 止... 止...
 ... 止... 止... 止... 止... 止... 止... 止... 止... 止... 止...

一 自... 身... 本... 以... 心... 也... 一... 心... 方... 多... 在... 七... 回... 無... 碍... 心... 無... 礙... 心...
 ... 一... 心... 方... 多... 在... 七... 回... 無... 碍... 心... 無... 礙... 心...
 ... 一... 心... 方... 多... 在... 七... 回... 無... 碍... 心... 無... 礙... 心...
 ... 一... 心... 方... 多... 在... 七... 回... 無... 碍... 心... 無... 礙... 心...

夫曰の正寅王奔

井心也然心之... 壽事而... 海之... 行

一 相約長... 古... 刻... 活... 主... 刻

古... 人... 刻... 刻... 刻... 刻

刻... 刻... 刻... 刻... 刻... 刻

刻... 刻... 刻... 刻... 刻... 刻

刻... 刻... 刻... 刻... 刻... 刻

刻... 刻... 刻... 刻... 刻... 刻

刻... 刻... 刻... 刻... 刻... 刻

刻... 刻... 刻... 刻... 刻... 刻

刻... 刻... 刻... 刻... 刻... 刻

刻... 刻... 刻... 刻... 刻... 刻

十七

一 於... 於... 於... 於... 於... 於

於... 於... 於... 於... 於... 於

於... 於... 於... 於... 於... 於

於... 於... 於... 於... 於... 於

於... 於... 於... 於... 於... 於

於... 於... 於... 於... 於... 於

於... 於... 於... 於... 於... 於

於... 於... 於... 於... 於... 於

於... 於... 於... 於... 於... 於

於... 於... 於... 於... 於... 於

於... 於... 於... 於... 於... 於

於... 於... 於... 於... 於... 於

於... 於... 於... 於... 於... 於

於... 於... 於... 於... 於... 於

於... 於... 於... 於... 於... 於

一 世より、桶の所を、いゝあせりのあしき事
 一 桶の中身を、白紙打書きの上で、
 おけり人、いゝま、いゝり、一紙の書、
 一 打書き、いゝる、自林の書、
 一 打書き、いゝる、及、各親、いゝる、
 一 世より、いゝる、いゝる、
 一 世より、いゝる、いゝる、

土田書辰

一 土田の所を、いゝる、
 一 土田の所を、いゝる、
 一 土田の所を、いゝる、

一 土田の所を、いゝる、
 一 土田の所を、いゝる、
 一 土田の所を、いゝる、
 一 土田の所を、いゝる、
 一 土田の所を、いゝる、
 一 土田の所を、いゝる、
 一 土田の所を、いゝる、
 一 土田の所を、いゝる、
 一 土田の所を、いゝる、
 一 土田の所を、いゝる、

一 此地は... 井上の...

高岡已東

一 此地... 寺... 井上...

大月庄中

一 此地... 井上... 寺...

一 白鹿寺より山内寺迄
 二 山内寺より山内寺迄
 三 山内寺より山内寺迄
 四 山内寺より山内寺迄

本日壬戌五柱并

一 山内寺より山内寺迄
 二 山内寺より山内寺迄
 三 山内寺より山内寺迄
 四 山内寺より山内寺迄

廿一日 山内寺
 廿二日 山内寺
 廿三日 山内寺
 廿四日 山内寺

一 山内寺より山内寺迄

先日甲子
 一 山内寺より山内寺迄
 二 山内寺より山内寺迄

三月廿

初日七舟

中區方御舟也

一舟は河内方舟を河内一舟に中區御舟

一舟は河内方舟を河内一舟に大普賢堂舟人千五百

舟御舟御舟人千五百

一舟御舟也

一舟御舟一初舟御舟一舟御舟也

二日西宮御舟

一舟は河内方舟を河内一舟に河内舟御舟御舟人千五百

三日御舟

一舟は河内方舟を河内一舟に河内舟御舟御舟人千五百

一舟は河内方舟を河内一舟に河内舟御舟御舟人千五百

一舟は河内方舟を河内一舟に河内舟御舟御舟人千五百

一舟は河内方舟を河内一舟に河内舟御舟御舟人千五百

一舟は河内方舟を河内一舟に河内舟御舟御舟人千五百

一舟は河内方舟を河内一舟に河内舟御舟御舟人千五百

一舟は河内方舟を河内一舟に河内舟御舟御舟人千五百

一舟は河内方舟を河内一舟に河内舟御舟御舟人千五百

一舟は河内方舟を河内一舟に河内舟御舟御舟人千五百

一舟は河内方舟を河内一舟に河内舟御舟御舟人千五百

一舟は河内方舟を河内一舟に河内舟御舟御舟人千五百

一舟は河内方舟を河内一舟に河内舟御舟御舟人千五百

一 半々多物と
 一 本は上巻の中にもありしと云ふ事
 一 大目に見ゆ
 一 言を長き山并ふと云ふ事
 一 言を短き山并ふと云ふ事
 一 言を長き山并ふと云ふ事
 一 言を短き山并ふと云ふ事

三

宿唐千

一 在在同上云々

一 新松林ありて成程後程云々 書札トナシ

一 寺ありて名字云々 本由云々 相中程あり

一 寺ありて相中程あり 寺ありて相中程あり

一 寺ありて相中程あり 寺ありて相中程あり

一 寺ありて相中程あり 寺ありて相中程あり

一 寺ありて相中程あり 寺ありて相中程あり

一 寺ありて相中程あり 寺ありて相中程あり

一 寺ありて相中程あり 寺ありて相中程あり

一 寺ありて相中程あり 寺ありて相中程あり

一 寺ありて相中程あり 寺ありて相中程あり

一 寺ありて相中程あり 寺ありて相中程あり

一 寺ありて相中程あり 寺ありて相中程あり

一 國元心法を記す方何れも人由作
 也中元平和の
 一 御市を御事自に在るは并に高徳市
 厚私に平多引一様しと

七也事未并
 法修守法是書しりしは
 後因備心下回之方何れも法興力と無高
 少志故言え三人
 人因契一人
 會外事 國師附附
 事也二行并ま
 左介品
 就各良唐之良事一由田言言う以友相海の
 世三

一 中揚州に... 洞の作のありは
 八日三幸由

一 兼所及友也
 一 井心計師教祿御事一様中は子登重候
 中仰也并心也心平
 一 海川と法原とら天梅川お方升お法原方
 初も

一 至道子の方何れも... 江構也
 一 三藏法見... 依禮也
 九日三同并

一 井心良見極二様... 傷案也
 一 共事書則御事... 傷案也

十日軍式

高城の下の人馬... 大市御所より取

中より二番して本陣より

一 陣の陣自より至る地守り海軍移地は合戦友

土目し... 陣の陣自より至る地守り海軍移地は合戦友

一 陣の陣自より至る地守り海軍移地は合戦友

一 陣の陣自より至る地守り海軍移地は合戦友

十日軍式

物色右は長岑沼河海軍... 一 陣の陣自より至る地守り海軍移地は合戦友

下... 一 陣の陣自より至る地守り海軍移地は合戦友

一 陣の陣自より至る地守り海軍移地は合戦友

一 陣の陣自より至る地守り海軍移地は合戦友

廿

廿... 一 陣の陣自より至る地守り海軍移地は合戦友

一 陣の陣自より至る地守り海軍移地は合戦友

一 陣の陣自より至る地守り海軍移地は合戦友

一 陣の陣自より至る地守り海軍移地は合戦友

一 陣の陣自より至る地守り海軍移地は合戦友

一 陣の陣自より至る地守り海軍移地は合戦友

一 陣の陣自より至る地守り海軍移地は合戦友

一 陣の陣自より至る地守り海軍移地は合戦友

一 陣の陣自より至る地守り海軍移地は合戦友

一 陣の陣自より至る地守り海軍移地は合戦友

一 陣の陣自より至る地守り海軍移地は合戦友

一 陣の陣自より至る地守り海軍移地は合戦友

一 陣の陣自より至る地守り海軍移地は合戦友

一 陣の陣自より至る地守り海軍移地は合戦友

一 陣の陣自より至る地守り海軍移地は合戦友

言わぬ油取入下し油とあるは油也

一 右首長等事申す古希柳州松竹新抄中

自前所存不感作法句新細馬吉則

洞別若物申す申す申す申す申す申す

毛意一人ト申すゆゑ有目

極味清心希ゆ衣申すつりサミヨニ伝

ノリツカラナリ初文リ立て申す行一三上

モカシ負無清心申す物

大目巳卯 西州会館申す

一 有即湯入

一 三性痛専

一 見信信元申す梓身松林後申す

共

松林信元申す二三所てて如う申す

有年事

十二日庚辰

付用信書

海者色川元元申す

申す事と書所 此解を初して

申す事と書所 此解を初して

申す事と書所 此解を初して

申す事と書所 此解を初して

申す事と書所 此解を初して

申す事と書所 此解を初して

申す事と書所 此解を初して

申す事と書所 此解を初して

申す事と書所 此解を初して

申す事と書所 此解を初して

十七日(辛酉)

后月朔一論乃中申白(注物)乃知
主長考子(主) 宿(夜)

母考考(三)開塔中(下)る(注物)志
天(氣)心(是)注(物)

寶徳子(青)上(右)出(并)親(長)

計上(土)無(院)以(子)外(出)果

遊(車)考(乃)付(執)事(小)考(了) 論(白)と(生)親
と(計)書(し)む(ま)ふ(る)

一三(高)冷(一)合(三)考(有)無(注)心(所) 論(考)了

一井(傍)資(資)考(之) 立(立)師(如)車(考)考(重) 園(考)了

去部(代)地(申)之(是)相(注)考(了)

十八日(壬午)齊

寺(高)海(海)遊(遊)考(了)之(之)之(之)之(之) 陽(注)考(了)之(之)

り(不)に(考)際(考)考(了)之(之)了(了) 極(一)考(了)考(了)考(了)之(之)

り(考)又(之)考(了)之(之)考(了)之(之) 考(了)考(了)考(了)考(了)考(了)考(了)

一土(雨)少(人)考(了)之(之) 柳(考)考(了)考(了)考(了)考(了)考(了)

一柱(与)考(了)考(了)之(之) 也(考)考(了)考(了)考(了)

一陰(陽)師(師)考(了)考(了)考(了)考(了)考(了)考(了)考(了)考(了)考(了)

考(了)考(了)考(了)考(了)考(了)考(了)考(了)考(了)考(了)

九日早来

初は院より少淋之在治来は事案公力事由院
所定信却所并一に。幸、上回力之共友
人、少、三、公、上、下、所、人、事、
高、の、又、家、之、如、昔、の、大、王、入、室、
三、人、極、の、由、

廿日早来

井坊柳一柳 自入林院差遣方終之

一 五江院

共

廿日早来

分海内之元空討行之君之例
一 勿去園上之道之也如之教以之
一 五江院

廿日早来

一 其、極、之、極、一、如、り、知、り、お、ま、り、
一 男、院、院、多、一、事、以、以、以、以、以、以、
一 同、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、
一 希、院、井、坊、手、一、院、院、院、院、院、院、
一 之、相、海、之、事、人、一、一、一、一、一、一、
一 法、分、之、

廿三日丁未
此日丁未
一 此日丁未
一 此日丁未
一 此日丁未
一 此日丁未
一 此日丁未

書向也
地成五乃例
一 此日丁未
一 此日丁未
一 此日丁未
一 此日丁未

一 此日丁未
一 此日丁未
一 此日丁未
一 此日丁未
一 此日丁未
一 此日丁未
一 此日丁未
一 此日丁未
一 此日丁未
一 此日丁未

一 付付神宮と別格院とあり白雲部
 後尾子と云ふ人も書部本村海別
 出度院とありとあり

廿三 月庚寅

一 初五日神宮と別格院とあり白雲部
 初五日神宮と別格院とあり白雲部
 一 初五日神宮と別格院とあり白雲部
 一 初五日神宮と別格院とあり白雲部
 一 初五日神宮と別格院とあり白雲部

一 初五日神宮と別格院とあり白雲部
 一 初五日神宮と別格院とあり白雲部
 一 初五日神宮と別格院とあり白雲部
 一 初五日神宮と別格院とあり白雲部
 一 初五日神宮と別格院とあり白雲部

老日章印

祿多至而寺... 清林... 自著

一 松... 社...

一 松... 社... 海師

廿日壬辰

一 海... 社... 海師

一 建社... 社...

天年永合樂壽福壽長

天年永合樂壽福壽長

幸甚

一

壽福壽長

新 春 澤 法 師 奉

御 後判是の五信の七郎の沙加の事なりとの御

寶徳四年二月七日七郎次郎沙加

全五貫又の度三信の苦沙二箇あり

付内言の物事上二箇あり

一 桑深水通一匹 江梅通一匹 付各貫又入

一 長唐紙 壹貫又 短唐紙 七貫又

一 沙糖 壹貫又

一 粉及一枚 付壹貫又

一 麴番へり二付 壹貫又

一 世に二双 付壹貫又

一 唐墨言一通 付壹貫又

一 蛸蛸二付 付壹貫又 二文の通

因二月九日書物納付事

唐買物に付

一 生糸通十匹 付内白七貫又

一 沫水通十匹 付内白六貫又 江梅二貫又

一 糸貫壹貫又

一 尺ノトヒカケノ元紙一枚 付長二貫又

一 同書名一

一 血まき 為院に云す申候物に付

一 漆付古鏡 四口 子 子 漆 漆 漆 漆 漆 漆

三子

一 青名古鏡 小 漆 漆 漆 漆 漆 漆

一 胡銅 うち 漆 漆 漆 漆 漆 漆

一 漆 漆 漆 漆 漆 漆 漆

一 漆 漆 漆 漆 漆 漆 漆

一 文 漆 漆 漆 漆 漆 漆 漆

一 漆 漆 漆 漆 漆 漆 漆

一 漆 漆 漆 漆 漆 漆 漆

一 漆 漆 漆 漆 漆 漆 漆

一 漆 漆 漆 漆 漆 漆 漆

昔
マコ

ナノト心あめめ...
 心をなやめ...
 心をなやめ...
 心をなやめ...
 心をなやめ...
 心をなやめ...
 心をなやめ...
 心をなやめ...
 心をなやめ...
 心をなやめ...

心をなやめ...
 心をなやめ...
 心をなやめ...
 心をなやめ...
 心をなやめ...
 心をなやめ...
 心をなやめ...
 心をなやめ...
 心をなやめ...
 心をなやめ...



世

27
40

27
41

寛政二年八月十六日辰船泊り上り揚子
 道と初五示 古市に東七月時中地付
 保多ヨリ上り上り中ヨリ上り
 南費、概ち之流を以て黄硫。一斤を以て五方寸言
 千一し初め又三寸大刀を以て初め也其言
 不傳方は伊勢國に於て其法は概ち船に積蓄し下り也
 何事書を正しむるに以て具

廿八

廿一
廿二
廿三
廿四
廿五
廿六
廿七
廿八
廿九
三十

廿一
廿二
廿三
廿四
廿五
廿六
廿七
廿八
廿九
三十

廿一
廿二
廿三
廿四
廿五
廿六
廿七
廿八
廿九
三十

廿一
廿二
廿三
廿四
廿五
廿六
廿七
廿八
廿九
三十

廿一
廿二
廿三
廿四
廿五
廿六
廿七
廿八
廿九
三十

廿一
廿二
廿三
廿四
廿五
廿六
廿七
廿八
廿九
三十

廿一
廿二
廿三
廿四
廿五
廿六
廿七
廿八
廿九
三十

廿一
廿二
廿三
廿四
廿五
廿六
廿七
廿八
廿九
三十

廿一
廿二
廿三
廿四
廿五
廿六
廿七
廿八
廿九
三十

廿一
廿二
廿三
廿四
廿五
廿六
廿七
廿八
廿九
三十

卅九

廿一
廿二
廿三
廿四
廿五
廿六
廿七
廿八
廿九
三十

廿一
廿二
廿三
廿四
廿五
廿六
廿七
廿八
廿九
三十

廿一
廿二
廿三
廿四
廿五
廿六
廿七
廿八
廿九
三十

廿一
廿二
廿三
廿四
廿五
廿六
廿七
廿八
廿九
三十

廿一
廿二
廿三
廿四
廿五
廿六
廿七
廿八
廿九
三十

廿一
廿二
廿三
廿四
廿五
廿六
廿七
廿八
廿九
三十

廿一
廿二
廿三
廿四
廿五
廿六
廿七
廿八
廿九
三十

廿一
廿二
廿三
廿四
廿五
廿六
廿七
廿八
廿九
三十

廿一
廿二
廿三
廿四
廿五
廿六
廿七
廿八
廿九
三十

廿一
廿二
廿三
廿四
廿五
廿六
廿七
廿八
廿九
三十

唐三十四卷
時直
正禪
社魯
唐三十九卷
唐三十九卷
唐三十九卷
唐三十九卷
唐三十九卷
唐三十九卷

相市
家德
行次
宜祐
唐三十九卷
唐三十九卷
唐三十九卷
唐三十九卷
唐三十九卷
唐三十九卷

勅市
要人
行次
祐新
唐三十九卷
唐三十九卷
唐三十九卷
唐三十九卷
唐三十九卷
唐三十九卷

行次
祐誠
祐次
考次
唐三十九卷
唐三十九卷
唐三十九卷
唐三十九卷
唐三十九卷
唐三十九卷

加任次
祐文
行次
考次
唐三十九卷
唐三十九卷
唐三十九卷
唐三十九卷
唐三十九卷
唐三十九卷

行次
祐仲
以次
宜航
唐三十九卷
唐三十九卷
唐三十九卷
唐三十九卷
唐三十九卷
唐三十九卷

唐三十九卷
祐村
大中元年
唐三十九卷
唐三十九卷
唐三十九卷
唐三十九卷
唐三十九卷
唐三十九卷

左馬助時家
唐三十九卷
唐三十九卷
唐三十九卷
唐三十九卷
唐三十九卷
唐三十九卷
唐三十九卷
唐三十九卷

文内
中
唐三十九卷
唐三十九卷
唐三十九卷
唐三十九卷
唐三十九卷
唐三十九卷
唐三十九卷
唐三十九卷

父信
唐三十九卷
唐三十九卷
唐三十九卷
唐三十九卷
唐三十九卷
唐三十九卷
唐三十九卷
唐三十九卷

子獨



四十一止

27
,
44

Handwritten header or title in cursive script, possibly including a name or address.

Main body of handwritten text in cursive script, consisting of approximately 12 lines of dense, flowing characters.

Handwritten text at the bottom of the page, possibly a signature or a closing note, including a date-like expression.



27
1
46

竹見代物酒之校中

醉也此酒有信之為

竹見代物酒之校中

此酒之校中

此酒之校中

此酒之校中

此酒之校中

此酒之校中

此酒之校中

此酒之校中

うし印紙... 大...
中し...
...

寺家... 礼...

定... 能... 活... 子... 卯... 子... 申... 子...

下... 知... 心... 及... 及... 子... 子... 子...

之... 文... 以... 言... 信... 有... 子... 子... 子...

之... 方... 心... 在... 入... 道... 心... 付... 在... 青... 子... 子...

有... 有... 有... 有... 有... 有... 有... 有... 有...

通... 通... 通... 通... 通... 通... 通... 通... 通...

通... 通... 通... 通... 通... 通... 通... 通... 通...

通... 通... 通... 通... 通... 通... 通... 通... 通...

通... 通... 通... 通... 通... 通... 通... 通... 通...

通... 通... 通... 通... 通... 通... 通... 通... 通...

通... 通... 通... 通... 通... 通... 通... 通... 通...

通... 通... 通... 通... 通... 通... 通... 通... 通...

27
1
47
上

紙
教
四
十五
枚

